

[通常機体] テラ「モノアイガンダムズ」

テラ・スオーノ

機体名	テラ・スオーノ	画像
型式番号	LRX-066	
英語名	TERA S'ONO	
所属	ティターンズ	
開発	ライプチヒ研究所 担当：フォリ博士	
パイロット	セレイン・イクスペリ	
装甲材質	不明	
MS ユニット装備	ハンドランチャービームサーベルサイコミュ誘導兵器	
MA ユニット装備	メガ粒子砲ハイパーメガ粒子砲×4 ストライカー・ビット	
作品名	SD ガンダム G ジェネレーション モノアイガンダムズ	
参考書籍	SD ガンダム G ジェネレーション モノアイガンダムズプロジェクト・セイレーネ機密ディスク ガンダムエース 2002.11 No.007	

内容

システム・セイレーネを起動させるために母体となる MS。

セレイン・イクスペリ用に調整されているが、まだその能力を十分に発揮できてはいない。

セレイン機が撃破されたのち、シスクードやデスパイダと共に数機が製造されたが、能力を発揮しきることはなかった。

(セレイン専用調整するため、他のパイロットではシステムを稼働させることは不可能。但し操縦は可能)

■ガンダムエース

MS と MA の両形態に換装可能。

MA 形態時のみ、サイコ・ウェーブを増幅し、周囲の兵士に影響を与えるシステム・セイレーネを実行可。

メインパイロットはセレイン・イクスペリ。

備考

■開発コンセプト

システム・セイレーネを運用するために開発される機体。

MS 形態と MA 形態にて運用する。

■MS ユニットコンセプト

システム・セイレーネを運用するために開発するニュータイプ専用モビルスーツであるが、基本

的には MS 形態は緊急時に高いレベルでの独立行動を可能にするものであり、システムを稼働させることはできない。

■ MA コンセプト

腰から下の大部分が、サイコウェーブの増幅装置となっている。

この状態で初めてシステム・セイレーネが起動できる。

なお、もともとテラ・スオーノは1個のサイコミュ兵器という開発コンセプトであった。

しかし、これほど巨大なユニットを運用するのであれば、なんらかの施策をしなければ一方的な攻撃を受けかねないであろう。

MS ユニットの提案同様、私は「ニュータイプによる親衛隊」として護衛用モビルスーツの開発を提案した。

これにより「シスクード」と「デスパーダ」の開発にも着手することになった。

ただし、その後の技術革新によって教育型コンピュータが大きく進化したため、副武装によるサポートも十分実用レベルになってきた。

どこまで出来るか未知数だが、私は追加武装にも力を入れていくことにした。

■ ストライカー・ビット

各触手に内蔵型コンテナを搭載。

MS ユニットのサイコミュ誘導兵器とは異なり、ジェネレータを内蔵した稼動時間、威力共に高いサイコミュ誘導兵器。

(この小型化が我々の目標の一つである)

■ モノアイガンダムズ「二人の強化人間」

ティターンズ残党の強化人間部隊の援軍として量産されたシスクード、デスパーダ、そしてテラ・スオーノが登場するが、登場するユニットは全て AI の機体で以前程の能力は見ることが出来ない。

ちなみにこのステージでだけシスクード、デスパーダが「捕獲」可能であるが、テラ・スオーノだけは捕獲することはできない。

関連項目

- ・ プロジェクト・セイレーネ

関連機体

- ・ シスクード (ティターンズ)
- ・ シスクード
- ・ デスパーダ

スペック

項目	内容
MS 全高	不明
MS 頭頂高	18.0m
MS 本体重量	39.2t
MS 全備重量	不明

MA 全高	不明
MA 頭頂高	123m
MA 本体重量	9680t
MA 全備重量	不明
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	